

第13回 第5分科会会議録（概要）		場 所	新宿区役所 第一分庁舎 7階研修室
日 時	平成17年12月15日 午後7時00分～午後9時10分	記録者	【学生補助員】 伊藤幸一
		責任者	区事務局（松浦・池田）
<p>会議出席者：21名 傍聴者1名 （区民委員：14名 学識委員：2名 区職員：5名）</p>			
<p>■配布資料</p> <p>①第12回会議録 ②歩きたくなるまち新宿（グランドデザイン）への視点（12月5日） ③「歩きたくなるまち」について ④1月の日程のお知らせ ⑤新宿歴史博物館企画展「暦の世界へ」のお知らせ</p> <p>■進行内容</p> <p>1 はじめに 2 廣江先生より 3 グループワーク 4 発表・意見交換 5 まとめ 6 中間発表会ワーキンググループより報告 7 事務連絡</p> <p>■会議内容</p> <p>【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員</p> <p>1 はじめに</p> <p>○： 配付資料の確認（6点） 配付資料の中で、「歩きたくなるまち新宿（グランドデザイン）への視点」は、前回、皆さんにグループワークの中で、模造紙にポストイットを貼っていただいたものを事務局でまとめたものです。本日のグループワークはこちらの資料もふまえながら、さらに議論を発展させて下さい。また、前回の分科会で廣江先生から、歩きたくなるまち新宿（グランドデザイン）について、「歩きたくなるまち新宿」を「住みたくなるまち新宿」と考えたときに、どういうふうに考えますかというご質問がありました。この冊子を作成した都市計画部の担当者から回答をもらい</p>			

ましたので、皆さんで参考にさせていただきたいと思います。

本日の分科会の進め方について

はじめに、廣江先生よりお話をいただきます。その後、班分けし、グループワークを行います。前回同様に模造紙にポストイットを貼る形で意見をまとめていただき、発表・意見交換を行います。その後、中間発表会ワーキンググループから報告していただき、最後の事務連絡でリーダー・サブリーダーの選出について、お諮りしたいと思いますので、よろしくお願いします。

2 廣江先生より

- ： では、グループワークに先立ちまして、廣江先生から本日の作業について、お話しさせていただきます。よろしくお願いします
- ◎： 12月のお忙しい中、ご苦勞様です。段々と作業の焦点を定めていかなければならないかと思います。たまたま、先日、日経新聞を読んでいましたら、法政大学の元総長の清成忠男さんの連載がありまして、おやっと思ったことがあるのです。どう書いてあったかという、学校（高校）に通う時にある人の家の前を通った。それが大内兵衛さんの家でした。大内さんも法政大学に縁のある方です。百人町から大久保駅に行く途中に立派なお屋敷がありました。それを読んでいたら、清成さんはその辺りに住んでおられたのだと驚きました。私も通学路として、その辺りを通っていましたので、同じ経験をしていました。そう考えると水戸黄門をやっていた俳優の西村晃さんは新大久保に住んでいたし、その甥で作家をやられている戸井十月さんはまだそこに住んでいると思います。これらのことから案外、昔の人から今の人まで新宿というのはいろいろな人を抱えているのだと思いました。新宿育ちのデザイナーもいますし、新宿育ちのIT億万長者もいますし、ずいぶんいろいろな人がいるなと思います。その情報をもう少し豊かにしていかななくてはいけないと思います。だいぶ以前に、みなさんに提出していただいた素材シートももう少し活かしていければいいかと思います。前回やった作業が「歩きたくなるまち新宿（ランドデザイン）への視点」として、まとめてあるかと思いますが、これをどう扱っていくのが次に重要で、情報として膨らませていくことと、いろいろと整理していかなければいけない。なぜ整理をしていくかという、分科会としての目的が全体として、ランドデザインあるいはランドデザインに基づく諸計画に対する意見をまとめるということですから、意見にしていかなければいけません。その意見としてまとめていくときに必要なことは、「私たちが新宿をどうしたいと考えているのか」、「新宿の何が問題なのか」ということを前回は出していただいて、むしろ新宿のここが問題だということ、例えば、商店や商店街等に関して出していただきました。今度は「新宿をどうし

たいと考えているのか」とか「新宿のここが問題だ」というところからもう一步踏み込んで、「問題はどこにあるのか」を考えていかななくてはけません。例えば、「歩きたくなるまち新宿（グランドデザイン）への視点」1ページの5番目に、商店街は客層に対応できなくなっている。商店街は非常に寂れてきている。これを何とかしなければならぬとき、原因は客層に対応できなくなっている商業者側の問題であると考えた場合にどうするのかという話になってきます。では、商店街は今ままでいいのかとか、変わらなければいけないとか考えると、3番目には、文化と観光と商店で連携を考えるべきだという意見があります。こういうことを整理していくと、今をよくするためにはどうしていけばいいのかが段々見えてきて、あとはそれをグランドデザインと対比させてみると、皆さんがお考えになって、こうした方がいいと考えたものを、グランドデザインも考えているかどうかわかります。考えていないときは、考えるべきだと言えればいいわけだし、考えているならば、こういうことをグランドデザインに強調すべきだと言えればいいと思います。今日は、そういう整理を、情報を膨らませていくことと併せて、行っていけばいいと思います。それが段々と意見になっていきます。こうしたい、グランドデザインに対して私たちはこういう意見を持つ、それはどういう考え、理由だからです。その理由はこういう新宿区にしたいからとかこういう新宿区であるべきだからだとなります。それを整理すれば、意見になると私は思います。皆さんがどうするかはそれぞれご自由にやっていただきたいのですが、私の場合であれば、皆さんが今まで出してきた情報を整理していくと、今のようなまとめ方をすると案外いろいろなものが見えてきて、私たちの意見としてまとめることが可能であると思います。以上です。

3 グループワーク

- ： ありがとうございます。では、今の先生のお話を踏まえまして、グループワークを始めていただきます。本日は2班に分かれていただきます。大体同じくらいの人数で分かれていただけるでしょうか。よろしくお願いします。

4 発表・意見交換

- ： まだお話が続いていると思いますが、よろしいでしょうか。今日、出た個々の意見は事務局で、後でシートにまとめさせていただくので、発表では、大きな視点として、まとめていただけますか。よろしくお願いします。

● : (2班)

まとまりのないような話なのですが、一応説明をします。新宿はいろいろなイベントの可能性があると思います。地域としては、盛り場がたくさんある、人がいっぱいいる。後は、楽しく、自由なまちではあるけれども、個々人の交わりの場が少ない。あるいは、外国人が非常に多くなってきて、日本人との間で共通の土壌というか何か下地をつくる必要があるのではないかと。ひとつのマンション、町会の例ですが、防災とか最重要な人の命に関わるようなことについては、昔からいる住民と新住民と言われるマンションの住民もたくさん参加して、防災訓練ができました。悪い面としては、自転車やバイクのマナーが悪い。もし、地震などの大規模な災害が起きたときには、それらが交通の邪魔になって、非常に心配です。あとは、今のまち並みが、ビルが建つことで、みんな崩れていってしまっている。それを残すための、商店街などを残すための方策を立てる。また、新宿駅周辺のことなのですが、今後10年、再開発があるので、非常に大きく変わってしまう。そういうものも土壌に入れながら議論を発展させた方がいいのではないかと。そういうものを全部まとめまして、情報発信を誰かがまとめるという形、コンシェルジュと言うのでしょうか、参加型のホームページや情報発信の場を作るべきだということをお話ししました。以上です。

○ : どうもありがとうございました。それでは、1班の方、よろしくお願いします。

● : (1班)

では、発表させていただきます。まず、新宿をどういうまちにしたいのかということで、ランドデザインの枝葉の部分はたくさん話し合われたと思います。それは今日配られたシートにもあります。まず、どういう新宿にしたいのかということで、文化、観光、産業、その他ということで話し合いました。まず、文化では、お国自慢ではないですが、芸術、文化、歴史などいろいろな地域、いろいろなものがあると思うのですが、自慢できるものをどうやってアピールすることができるかということで、アピールに絞り込んで、ランドデザインにそってたくさん意見が出ています。しかし、時間がないのでそれはまた今度ということで。それから、産業では、言葉はよろしくはないですが、お金があるまち、まちの活性化につながるニーズにこたえられるものは何か、どういうものが必要か。観光では、楽しくワクワクできるものがたくさんある、地域ならではのイベントとか、新宿のこだわりとは何かということ掘り下げて、いろいろとランドデザインに対して意見が出ています。全体的にまとめると、住む人、もしくは、働く人がストレスのないまち、環境のいいまち、身体にいいまちということで、安心して住めるまちというのは何だろうかということです。それにそってランドデザインに意見が出るというところで掘り下げて、本当にそれが必要なのか、悪いものはどうしたら良くなるのかを次にまとめていかないと、具体的などころが出てい

かないのではないかとこのころで時間がなくなってしまいましたので、これを次回に繋げられたらいいなと思います。最後に、先程の班でもありましたが、情報はいろいろと飛び交っていて、整理されていない。本当に欲しい情報が届いていないというのが現状だと思います。もちろん情報発信も必要ですが、まず整理して、その中で何が必要で、何が必要でないのかをきちんと整理していかなければならないということです。以上です。

- ： どうもありがとうございました。今日の模造紙は後で提出して下さい。また事務局でまとめさせていただきますので、よろしくお願ひします。では、まとめということで、先生方から一言ずつお願ひします。

5 まとめ

- ◎：（廣江）今お配りしたのはしばらく前の新聞記事ですが、私の知り合いの人が書いて、なるほどと思う大切な視点があります。これに即して議論に出てきたことも重なりがあると思うので、少し説明させていただきます。これは観光立国をどう作ればいいのかという彼の意見です。例えば、私たちが外国、特にヨーロッパを旅行するとき何に期待するのかというときに、彼は、教養番組で見たような文化遺産の存在を目で確かめ、写真を撮るためだろうか。むしろ、楽しみの比重は、食事や興業見物やショッピング、それに異国の匂いをかぎ、異国の風を受けまを歩くことに向けられているはずだと言っています。それにふり返って、東京を見た場合、日本を見た場合には、いろいろ話をしていますが、日本ではどこに行っても中身は同じになっている。そういう国づくりをしてきたため、どこもリトル東京や銀座だということになります。彼は、そうであるなら、観光振興の王道は、標準化されていない生活文化の振興、すなわち住民の多くが自ら楽しめるちょっと違った文化の自己発見とその洗練、差別化、発信にほかならない。画一化された都市景観、郊外景観といった外面のみならずその背景にある画一性指向、格差是正主義をも反省し、多様な個性を地域ごとにつくり込んでいく努力が必要になろうと言っています。今日、私が見ていて、新宿のグランドデザインの中で、多様な個性を地域ごとにつくり込んでいくということをかなり意識して、皆さん話し合われていました。そういうことを考えていくことで、実は観光だけでなく、産業、生活などがひとつにまとまってくる要素があるのではないかと思います。では新宿と呼ばれ、多様な個性を地域ごとに作りこんでいくための、生活の仕方とは何か、産業とは何かとか、その中で生業的な営みはどうして維持されていかなければならないとか、新宿にある巨大な産業との付き合いはどうしたらいいのかなどいろいろな問題の立て方ができるとお願ひします。皆さんが考え方をまとめていくときの、あくまでも参考として、あとはこういうものを生かして

いくために、知識、知恵がとても重要だと思います。知識とか知恵をどうやって集めていくかということと併せて、どうやって伸ばしていくかという意味で教育機関、図書館などもまとまっていかなければならないと思います。まとめではないですが、意見です。

- ◎：(橋本) やはり、新宿というまちがもっている力、日本の中でも、これだけのところに産業、文化、観光がある場所はないと思います。ただそうは言っても、光と影の部分、問題点があると思うので、どう情報発信していくのか、整理していくのか、ここは皆さんの意見と同じところですよ。ニューヨークの話と対比すると、実はニューヨークでもいろんなことが変わってきています。例えば、フルトンマーケットという昔からの市場がありましたが、ビルの問題などいろいろなことで郊外に出されてしまったということで問題になりました。どこでもそういう問題があると思いますので、それをいかに乗り越えていくのかと考えていくことです。また、今日はそれぞれ個別の立場で、個別の内容を出していただきましたが、やはりこういう情報整理をしていく部分での土台作り、ネットワーク作り、組織作りということが、もちろん、区でもたくさんやっていると思いますが、それを等身大に噛み砕く組織作りということが、大きな流れの中で非常に重要だと思います。まさに、区民会議が行っている方向性です。区民会議は来年の6月で終わってしまいますが、これをどう継続して、維持していくことがひとつの大事なテーマになるかだと思います。私もまとめというか、意見です。

6 中間発表会ワーキンググループより報告

- ： ありがとうございます。先日、第2回中間発表会ワーキンググループの会議がありました。代表の方に出していただきましたので、概要について報告をお願いします。
- ： 簡単に説明します。日時は平成18年2月19日で、朝10時から午後1時ぐらいまで、6つの分科会が発表することになります。前回、申し上げましたが、どの分科会もまとまっているところは少ないので、こういうことをやっている、こういうところまでまとまっているということを発表しようということです。午後1時近くまでやりますので、その後、昼食を兼ねた休憩時間を取ります。その間に、会場を整理して、分科会ごとの6つのブースを作り、そこで質問を受けましょうということです。この位置づけとしては、区民からご意見を伺うことはもちろんですが、各分科会間の交流があまりないので、お互いの交流も目的にしましょうということです。また、区長も朝からいらっしゃるということで区長も交えて、お話をしたいという意見も出ました。また、中間発表会にむけての役割がありますが、その中で、ワーキンググループ(各分科会)でやるものと、区でやる

ものがあり、お互い協力して、どの役割を分担するかという話がありました。例えば、当日の受付や会場案内は1人ずつ出して欲しいということです。また、肝心なのはこの分科会のまとめです。各分科会はパワーポイントを使って、発表を行い、時間は20分です。それから、午後の部では、各分科会のスペースに模造紙2枚を貼れるということなので、ある程度のことは書いて出せるということです。また、リハーサルについては、分科会ごとにやるということなので、これからまとめの作業と合わせて、行うようになります。また、役割分担等も決めていきたいと思いますので、皆さんご協力お願いします。あとは、区の方をお願いします。

- ： 今の説明でおおまかなことは話されたと思います。午前と午後で、第1部と第2部という形で分かります。第1部は今年6月に行われた第1回全体会のようなイメージです。第2部は交流会、自由参加のイメージで話し合いが進んでいます。これから、まとめの作業に入ってくると思いますが、ワーキンググループの方やリーダー・サブリーダーの方がやるわけではなくて、第5分科会の皆さんが協力して行っていただきたいと思います。パソコンの得意な方などそれぞれが得意な分野でいろいろと作業をしていただけたらと思います。先程、話に出た役割分担の中で、広報やホームページの作成などは第1分科会で得意な方がいらっしゃるということで立候補していただいています。第5分科会の皆さんも得意な分野があると思います。1月の分科会でも、役割分担について、お話をさせていただきますので、ご協力をお願いします。

7 事務連絡

- ： では、中間発表会については、1月以降の分科会でもお知らせしていきますので、よろしくをお願いします。では、最後の事務連絡ですが、リーダー・サブリーダーを以前から選出していただくことをお願いしています。今まではまとめ役4名の方に協力していただいたのですが、そろそろ6月から半年経ちまして、皆さんもグループワークなどお互いによくわかりあえてきた頃だと思いますので、本日、リーダー・サブリーダーを選出させていただきたいと思います。リーダーの役割としましては、第5分科会のまとめ役のほかに、各分科会の代表者で構成される世話人会へ第5分科会の代表として出席していただくことなどです。もちろんリーダーひとりだけでは大変ですので、サブリーダーとして、いろいろと補佐していただける方2名を選出したいと思います。リーダーの方で自薦、他薦を含めて、どなたかいらっしゃいますか。
- ： リーダーは推薦、サブリーダー2名は立候補。
本人了承、出席者承認（拍手）

- ： ありがとうございます。では、リーダー1名、サブリーダー2名が決まりましたので、皆さんもご協力のほどよろしくお願いします。
- ： でも皆さんの協力がないと出来ませんので、これからもよろしくお願いします。
- ： 次回もグランドデザインを素材にして、グループワークを行いたいと思いますので、よろしくお願いします。本年はこれで最後になります。皆さん、お忙しい中、参加していただきありがとうございました。また、来年もよろしくお願いします。

* 1月の日程について

- ・ 1月12日（木） 19時～21時 新宿区役所第一分庁舎7階研修室
- ・ 1月24日（火） 19時～21時 新宿区役所第一分庁舎7階研修室

* 2月の日程について

- ・ 2月 3日（金） 19時～21時
- ・ 2月16日（木） 19時～21時

※ 2月の会場は決まり次第、お知らせします。

以上